

令和 6年度

事務事業評価表 (令和 5年度 の実績評価)

記入年月日
令和 6 年 4 月 15 日

事務事業名		人材育成事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	040304001031
		総合計画の施策名				単独/補助	補助	所属課	025101
		0403 観光の振興						課長名	ヤマザクラ課
		政策名						グループ	ヤマザクラグループ
		04 活力ある産業のまちづくり						担当者名	
		03 観光の振興							
		04 ④ヤマザクラを生かした観光振興							
		手続名							
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	02	01	18	01	00	ヤマザクラの里づくり事業		
						単年度繰返し (平成30年度~)			
						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			
法令根拠 桜川市ヤマザクラ保全活用計画									

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
「ヤマザクラと市民の幸せが咲くまち桜川」を実現するため、平成31年2月20日に策定した「桜川市ヤマザクラ保全活用計画」を推進し、山桜の保全管理や山桜文化の醸成など、特色あるまちづくりを進める。	桜川市ヤマザクラ保全活用計画の推進 ○人材の育成に関する業務 ・地域景観リーダー (桜守) 育成 (一社) 桜川保勝会と連携し、桜守養成講座を開講する。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
桜川市ヤマザクラ保全活用計画の推進 ・啓発本作成 (児童生徒向け) ・委託契約、監理監督、納品、配布 ・絵画コンクール ・地域景観リーダー (桜守) 育成 講師派遣申請、学習会等の開催	地域景観リーダー (桜守) 育成講座の開催回数	回	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
市民	桜川市の人口	人	37,653.00	36,794.00	36,647.00	36,500.00	35,897.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
山桜と自然環境の保全を通じて、地域の課題解決につなげ、「ヤマザクラと市民の幸せが咲くまち桜川」を実現する。	地域景観リーダー (桜守) 育成数	人	21.00	17.00	20.00	30.00	40.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	国庫支出金	千円	408	408	50	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	408	408	50	
	事業費計 (A)	千円	816	816	100		
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		

事業費の内訳	05年度事業費 実績 (千円)			06年度事業費 予算 (千円)		
	12 委託料	816		07 報償費	100	
	合計	816		合計	100	

(4) 当該年度の実施内容	06年度の事業内容	07年度の事業内容	08年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する	桜川市ヤマザクラ保全活用計画の推進 ○人材の育成に関する業務 ・地域景観リーダー (桜守) 育成	桜川市ヤマザクラ保全活用計画の推進 ○人材の育成に関する業務 ・地域景観リーダー (桜守) 育成	桜川市ヤマザクラ保全活用計画の推進 ○人材の育成に関する業務 ・地域景観リーダー (桜守) 育成

事務事業名	人材育成事業	事務事業No.	40304001031	所属課	ヤマザクラ課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
平成31年2月20日に策定した「桜川市ヤマザクラ保全活用計画」を推進し、山桜の保全管理や山桜文化の醸成など、特色あるまちづくりを進めるために行う。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
「日本一のヤマザクラの里」のまちづくりに対する理解と関心を深める必要がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 桜川市第2次総合計画と整合が取れており、市の政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 「ヤマザクラと市民の幸せが咲くまち桜川」を実現するため、妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 人材育成に係る講座等を開催するにあたり、より広く啓発するためカリキュラム編成に工夫の余地がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 桜川市ヤマザクラ保全活用計画に示す各事業においても影響がある。	
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 最小限の事業費、人件費で事業を実施しており削減の余地はない。	
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 「ヤマザクラと市民の幸せが咲くまち桜川」を実現するため、市が策定した桜川市ヤマザクラ保全活用計画を推進するための業務であり、受益者負担の必要性はない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	人材の育成については、世代を問わず広く市民に浸透して保全活用に関わるネットワークが出来上がっていく事を目指している。令和2年度は山桜保全啓発絵本を制作し、令和3年度に市内小・中・義務教育学校および市内図書館へ贈呈した。また、令和5年度の桜守養成講座にて10名が中級過程を修了、7名が上級課程を修了した。																						
②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 費用対効果の向上、及び参加対象となるターゲットの再設定を図るため、令和6年度より事業の実施方法を変更。委託事業としていたものを職員が主となり事業を展開することにより、コスト削減と柔軟な対応が図りたい。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ③																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>